

# NPO 法人たかつき市民カレッジ

## 第 3 回通常総会

開催日時

令和 4 年 5 月 28 日(土)  
午前 11 時～12 時

開催場所

高槻市立総合市民交流センター  
クロスパル高槻 303 会議室

## 【第1号議案】

### 令和3年度事業報告書

#### I. 事業期間

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

#### II. 事業の実施状況

2021年度は当カレッジの2年目に当たり、1期生・2期生・特別講座受講生が114名になった。そのような中、2020年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止対策による緊急事態宣言・まん延防止等重点措置が、4月から発令し、3月まで173日頻繁に発令された。そのためやむなく中止の事態となったが、そのような状況において、万全の感染予防対策を行いながらも、講座が56回開催できた。

計画における事務局の充実、組織の役目を明確にしながら実施できた。会計処理の明確化に関しては専門担当を設置することで次年度に持ち越した。事務簡素化・情報提供のためのデジタル化においては確立の途中と判断する。高槻市民への募集に対する啓蒙活動においては、広報誌・役所掲示板・社会福祉協議誌・活動サポートセンター・掲示板設置など十分なる活動はできた。

#### III. 担当部署の実施状況

##### 1. 事務局

- ・計画の「会議体を定期的開催し運営を図る」に関しては月1回の理事会の開催が行われた（オンライン開催を含む）。
- ・対外的な窓口対応においては、役所関係の不備書類を整理でき、全て公開できる体制になった。

##### 2. 経理部

- ・経費などの発生においては同時当月での処理の目標に関しては、取り決めを変更し翌月処理に変更したが、発生月処理を採る。

##### 3. デジタル委員会

- ・デジタルを活用した連絡網の確立においては、LINEを活用する方向で継続中である。
- ・会報の作成においては次年度に検討とした。

##### 4. 3年次構想委員会

- ・アンケートを中心に計画書を作成し、「プラチナコース」設立に貢献できた。

##### 5. 講座委員会

- ・講座実施においてはコロナ禍において十分達成できた。

##### 6. カリキュラム委員会

- ・基本の方針に基づきカリキュラムは作成できた。

##### 7. 募集委員会

- ・計画的に募集チラシは配布できた。今年初めて屋外にポスターを貼りだし、それにより前年を上回る受講生の獲得ができた。

以上

令和3年度活動計算書

令和3年4月1日～令和4年年3月31日

NPO法人たかつき市民カレッジ

単位：円

科 目	金 額
【経常収支の部】	
1 経常収益	
1. 受講料収入	2,070,000
2、受取会費	65,000
3、受取助成金	0
4、受取利息	19
5、雑収入	13,262
経常収益計	2,148,281
II 経常費用	
1. 事業費	
(1) 諸謝金	1,016,195
(2) 旅費交通費	265,640
(3) 広告宣伝費	13,266
(4) 会場費	233,697
(5) 印刷製本費	187,066
(6) 通信運搬費	16,690
(7) 消耗品費	44,748
(8) 保険料	17,000
(9) 雑費	31,495
事業費計	1,825,797
2. 管理費	
(1) 旅費交通費	117,610
(2) 広告宣伝費	0
(3) 会場費	7,030
(4) 印刷製本費	24,479
(5) 通信運搬費	18,697
(6) 消耗品費	45,789
(7) 保険料	5,000
(8) 雑費	10,600
管理費計	229,205
経常費用計	2,055,002
当期経常増減額	93,279
当期正味財産増減額	93,279
前期繰越正味財産額	794,004
次期繰越正味財産額	887,283

## 【第3号議案】

### 令和4年度事業計画書(案)

#### I. 事業期間

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

#### II. 事業の実施方針

当カレッジは「人生100歳時代」をいかに一人一人が元気で、活力を持って老いを生きていくために「生きがい作りの提案」を行う方針である。地域の仲間と共に学び、交流する機会を持ち、そこで得た知識、経験を発揮できる活動の場を作っていくことである。

学び⇒仲間を作り⇒社会貢献（社会参加）を目指す。今年は特に仲間作りのために内容を充実し、また、今年度初めての講座「プラチナコース」の確立を目標とする。さらに、当カレッジも3年目を迎えるにあたり、次のステップを見出すため講座の検討・組織づくりを行う。

#### III. 事業の実施に関する事項

##### 1. カレッジ講座内容に関して

###### 1) 基礎講座

基礎講座受講生の2、3期生に対しては、午前中の座学は、今まで通り内容の充実を目指す。更に、午後の講座に関してはできるだけ仲間作りのための講座、「クラスの集い」「見学会」「グループミーティング」「発表会」「課外学習」「ワークショップ」等を行う。

「プラチナコース」に対してはできるだけ独自性を持った活動とし、自由参加・自由発言などを通じ、提案型のスタイルで地域参加を目指す。

###### 【実施講座】

1. 三期生講座：年間19日38件の講座を実施する。
2. 二期生講座：年間19日38件の講座を実施する。
3. プラチナコース：3チームでの研究テーマを設け、発表の場を設定する。

###### 2) 特別講座

「歴史コース」に関しては、今回細部内容の講演である。次回開催の内容検討行う。

###### 【実施講座】

1. 年間20件の講座を実施する。
- 「文化・芸術コース」に関し、著名な講師であるので以後における維持交流を図る。

###### 【実施講座】

1. 年間20件の講座を行う

###### 3) プラチナコース

今年新設のコース。カレッジにおいては重要な講座で3チームで実施する。

###### 4) 集中講座

「夏季コース」に関しては、事務的な講義項目を取り上げる。今回はパソコン関係の基本講座を実施する。

###### 【実施講座】

1. 夏季に4回にわたり実施する

「冬季コース」に関しては、初めての試みである役所関係と共催（生涯学習センター：けやきの森大学）で開催する。当カレッジでの重要な企画であるので、内容の

充実を図る。

**【実施講座】**

1. 「（仮）高槻をもっと知ろう」と題し、12月に参加費2,000円、人数：50名を当カレッジ主体の運営で行う。

**2. 講座運営に関して**

- 1) 予算の確実なる実施
- 2) 各講座担当2名の確立
- 3) 総括責任者の指示の基、独自での活動の重視

**3. カレッジ運営に関し**

- 1) ステークホルダーとの関係を構築する（高槻市役所・関西大学・高槻で同じ方向性を目指す団体）
- 2) 事業拡大に伴い、各担当を明確にするなどの組織の検討を行い、確立する。

以上

# 令和4年度活動計算書(案)

NPO法人たかつき市民カレッジ

単位：円

科 目	金 額	
<b>【経常収支の部】</b>		
1 経常収益		
1. 受講料収入	2,893,000	
2、受取会費	56,000	
3、受取助成金	20,000	
4、受取利息		
5、雑収入		
経常収益計		2,969,000
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 諸謝金	1,543,370	
(2) 旅費交通費	326,000	
(3) 広告宣伝費	100,000	
(4) 会場費	203,540	
(5) 印刷製本費	104,250	
(6) 通信運搬費	24,000	
(7) 消耗品費	45,500	
(8) 保険料	38,000	
(9) 雑費	18,500	
事業費計		2,403,160
2. 管理費		
(1) 旅費交通費	200,000	
(2) 広告宣伝費	0	
(3) 会場費	14,000	
(4) 印刷製本費	12,000	
(5) 通信運搬費	9,000	
(6) 消耗品費	46,000	
(7) 保険料	5,000	
(8) 雑費	11,000	
管理費計		297,000
経常費用計		2,700,160
当期経常増減額		268,840